

アクション
社会参加活動推進事業 「みんなでAction！」
～ 子どもたちの「生きる力」を育む ～

この事業は、中学生や高校生の社会性や自主性、親準備性を
地域の大人みんなで育てていくことを目的として実施しています。

【中学生、高校生に期待する効果】

- ・有用感や達成感を得ることにより、自己肯定感が高まる
- ・異世代交流をとおして、地域とのつながり意識をもつ
- ・さまざまな団体や活動を知ることにより、社会的視野が広がる
- ・小さい子どもへの興味、関心が高まる
- ・子育てに対する肯定的イメージをもつ

など



こうした効果を高めるためには、中高生に対する地域のみなさんの関わりが重要となります。

受入団体等の
みなさんへ

次のようなことに配慮して下さるよう、ご協力をお願いいたします。

<活動のはじめに>

- 中学生、高校生に活動の趣旨を伝えてください。
団体の紹介、活動目的、自己紹介など



<活動の中で>

- できるだけ一人ひとりに声をかけてください。
- 名前と呼ばれるとうれしいものです。名札をつけますので、できるだけ名前でご呼んでくださるようお願いします。
- 小さなことでもほめてあげてください。その一言によって自信と意欲をもって活動に取り組むことができます。
- 少しの時間でもいいので、中学生、高校生に“任せる場面”を設けてください。責任感をもって活動することで、有用感や達成感を得ることができます。
- 意見交換の時間を設定できる場合は、ぜひ中学生、高校生の意見に耳を傾けてみてください。
- 乳幼児や小学生とのふれあい活動では、小さい子どもたちと関わり合う時間を多くとってくださいようお願いします。



ひとつの活動をきっかけに、中学生、高校生一人ひとりが、
地域のさまざまな活動に自主的、意欲的に参加してくれることを願います。

アクション 社会参加活動推進事業 「みんなでAction！」

一人ひとりが地域をつくる主人公です

地域の団体は、それぞれ何を目的として、どのような活動をしているのでしょうか。地域の大人に学びながら、みなさんのもっている力を地域づくりに活かしてください。

地域の人たちとの関わりを大切に、次のようなことに心がけて活動しましょう。

☆あいさつは 元気よく！

気持ちのよいあいさつは、基本中の基本です。明るくあいさつすることによって、力が抜けて、自然と笑顔になります。



☆楽しく、積極的に活動しよう

活動の目的を考えながら、積極的に活動しましょう。自分で楽しみながら活動すると、気持ちが相手に伝わります。

☆わからないことは

遠慮しないで 聞きましょう

わからないのは当たり前です。わからないことや困ったことがあったら、相手や担当の人に聞きましょう。



乳幼児や小学生とのふれあい活動では、次のことにも心がけましょう。

☆一緒に遊び、笑い合っ て信頼関係をつくろう

目と目を合わせ笑顔で会話をすれば、あなたの心が伝わります。幼児や小学生の世界に入り込み、同じ目線で一緒に楽しみましょう。

☆「認める、ほめる、待つ」関わりを意識してみよう

人はだれでも認められ、ほめられるとうれしいものです。小さいことでも「よくできたね」「すごいね」などとほめてあげましょう。また、何でもやってあげるのではなく、小さい子どもが自分で最後までやりとおすのを待つてあげることも大切です。



☆子育てをする保護者の様子も見てみよう

保護者も一緒に参加している場合は、保護者が子どもとどのように関わっているか、様子を見てみましょう。子育てについて話を聞いてみるのもいいですね。



☆保育所や幼稚園等は

乳幼児の命を預かる施設です

保育所や幼稚園等で活動する場合は、大事な命を預かっている施設であることをしっかり心にとめながら、活動しましょう。